



## 年長 稲作(田植え)

年長恒例の稲作は、田植えからのスタートです！種から発芽し、育苗箱で稲が育つ様子は動画でお知らせしましたが、職員による畦塗り、代掻き（しろかき）を経て、年長による田植えを行うことができました。初めて田んぼに入る子どもたちは、おそるおそる歩を進め、丁寧に稲苗を植えていました。田植えの作業はもちろん、泥の感触はきっと忘れられないことでしょう。「早くおにぎりが食べたい！」という声も聞かれました。今から秋の「おにぎりパーティー」が楽しみです！なお、例年は代掻きで泥遊びを満喫しますが、今年は時期がずれたため、7月の水遊びで楽しめるよう、棚田の1面だけは田植えをせずに残してあります。気候をみて泥遊びを楽しみたいと思います。



**カイコ** 例年、横浜のシルク博物館からカイコの卵をいただき、各クラスで桑の葉をあげたり掃除をしたりと、子どもたちがお世話して育ててきました。今年は、主に職員室で数を限定して育て、クラスでは成長の様子を時々観察できるようにしていきます。ゴマ粒より小さい卵が孵化し、1ヶ月後には約1万倍の大きさに生長していく様子や、糸を吐き、繭（まゆ）になり、生糸をとって制作につなげる過程を楽しみたいと思います。園内にはカイコの餌となる桑の木が5本ありますが、休園中に新たに50本の苗木を、南斜面に植えました。これからはカイコの飼育も完全自給自足で行っていきそうです。小学校でもカイコの飼育が行われるかもしれませんが、幼児期にカイコに触れ、慈しむ気持ちが芽生えることは、子どもの心の成長に大きな意味をもたらします。「知識を得る」より先に「触れ合う体験」を持つ事。幼児期の原体験が大切です。



**6月の遊びと生活** 遊びや活動の詳細は、ブログに随時掲載していきますのでぜひご覧になって下さい！

